

銀杏学園通信

# ぎんぎょう

G I N K Y O



特集  
SPECIAL FEATURE

## 新アリーナ完成

### ■ NEWS&TOPICS

学生相談・修学サポートセンター開設  
卒業式・修了式 他

### ■ ふれあいサロン

新入生インタビュー・サークル INFO

NO. 38  
2018  
JULY  
www.kumamoto-hsu.ac.jp



# 新アリーナ完成

## ■はじめに

平成 15 年の開学当初約 800 名であった学生数が、現在 1,600 名弱と約 2 倍となり、アリーナや駐車場の収容能力は慢性的に不足状態にありました。

また、約 6 割の学生が通う西里駅から本学までの通学路の安全確保も、開学当初より重要な課題でした。

そこで、西里駅側に約 15,000㎡の土地を購入し、アリー

ナ・駐車場の建設と通学路の整備等を行うこととしました。

平成 28 年 3 月より造成工事に着手し、翌 4 月には熊本地震に見舞われながらも関係者の協力により、当初計画通り 2 年後の平成 30 年 3 月 7 日にアリーナが竣工し、平成 29 年度の卒業生を新しいアリーナから送り出すことができました。



## ■施設概要

# アリーナ

- 鉄筋 2 階建、総延べ床面積約 2,500㎡
- 収容人員数：1,600 名程度（旧アリーナ：約 1,000 名）
- 福祉避難所としての機能充実

停電時でも福祉避難所として問題なく機能できるように、非常用電源としてガス発電機を設置しました。

- 地域住民への施設開放

大学の行事を優先しますが、地域住民の福利厚生、健康増進や研修のため、アリーナ施設やジョギングコースを開放します。



## 園芸療法施設（コミュニティーガーデン、薬草園）

- 大学で薬草園等を活用した農業に関する研究やカリキュラムを導入  
生活機能療法学専攻の学生を対象に、園芸療法に関する授業で利用します。
- 薬草園の管理に地域農業の活用を計画  
園芸療法施設の管理を地域農業者から雇用し、園芸療法用ガーデンで栽培した作物等の商品化を目指した開発等を計画しています。

## 歩車道の拡幅・整備

- 車道の拡幅と歩道の新設  
西里駅から本学までの通学路は、道幅が4メートルと狭く、外灯も暗かったため、従来から学生の通学時の安全確保という点で問題がありました。今回車道を6.5mに拡幅し、幅5mの歩道を新設すると共に外灯も整備したことで、安全でスムーズな通行が可能となりました。
- 休憩スペース（日よけ、ベンチ等）を整備  
西里駅前には竣工記念として崎元学長より寄贈頂いた山桜の大木を植え、その脇にはベンチを設置し、学生や地域住民の休憩スポットを設けました。また、新設した歩道は、夏の日差しから歩行者を守り、秋には紅葉が綺麗なトウカエデの並木道としました。

## 駐車場

- 駐車台数：79台
- JRを利用する地域住民に開放  
5台分をパークアンドライド施設として、地域住民に開放します。



### ■おわりに

「熊本保健科学大学 キャンパス拡張計画」として平成25年1月にスタートした本計画は、土地を提供頂いた地主の方々、地域住民の皆さん、工事を請負って頂いた企業の方々、他にも多くの方々のご協力により、5年後の今年3月竣工

を迎えることができました。

今後は、設計コンセプトとして掲げた「地域に根差し、地域に尊敬される大学を目指した高品質な教育環境づくり」の実現に向け、本施設を大いに活用して参ります。



## 「学生相談・修学サポートセンター」の開設

学生相談・修学サポートセンター オーガナイザー 嶋田かをる

時代のニーズに対応し、これまで以上に組織的・機能的に学生の皆さんを支援するため、平成30年4月、本学に「学生相談・修学サポートセンター（以下、サポートセンター）」が設置されました。サポートセンターは、学生生活における様々な悩みや修学に困難を感じている学生の皆さんへ相談と支援・指導等を行い、修学環境をサポートするために次の3つの部門で構成されています。

- ①学生のメンタル面を支える学生相談部門（カウンセリング機能）
- ②修学に困難を感じる学生のサポート部門（コーディネート機能）
- ③これらをサポートする学生の養成部門（ピア・サポーター養成機能）

サポートセンターでは、センター長のもと専任のオーガナイザーが中心となり、学科から選出された教員の運営スタッフと事務担当者が、3つの部門の活動を有機的に組み合わせながらサポートしていきます。また、学内の他部署（組織）や学科との連携・調整を図りながら、学生の皆さんの学修力と大学の学生支援力の向上に努めて参ります。



## 卒業式・修了式

平成30年3月9日（金）新しく出来たアリーナで、医学検査学科105名、看護学科110名、リハビリテーション学科123名（理学療法専攻45名・生活機能療法専攻42名・言語聴覚専攻36名）、大学院保健科学研究科11名、助産別科21名、総計370名の卒業式・修了式を、多数のご来賓・保護者の皆様にご臨席いただき挙行いたしました。嶋元学長から、各学科・専攻及び大学院保健科学研究科の代表者へ学位記を、助産別科の代表者へ修了証書が授与されました。また今年は総合成績優秀者賞（6名）、GPA賞（11名）、酒匂賞（3名）、優秀論文賞（1名）、特別賞1組、学部長表彰2名、述べ23名1組が表彰されました。

医学検査学科卒業生 山口夏生さんが、家族や教職員への感謝の言葉とともに、大学で学んだ「知識・技術・思慮・仁愛」の精神を忘れず、熊本保健科学大学卒業生としての誇りを持ち、より広く社会に貢献していきたいと、力強く答辞を述べました。卒業生の今後の健闘を心よりお祈りします。（総務課）



## 卒業記念パーティー

平成30年3月9日（金）、卒業生330名をはじめ、総勢約430名が熊本ホテルキャッスルに集い、盛大に卒業記念パーティーが開催されました。嶋元学長から祝福の言葉をいただいたあと、山野リハビリテーション学科長の乾杯の発声を合図に、和やかな雰囲気の中で宴がスタートしました。互いの門出を祝福しあうとともに、これまでの学生生活を振り返りながら思い出話に花が咲きました。

趣向を凝らした先生方への感謝の動画を上映後、SGごとに花束や記念品の贈呈がおこなわれ、新たな門出にふさわしい笑顔溢れる席となりました。卒業生の皆さんの新しい環境でのご活躍を心より祈念いたします。（学務課）



N&amp;T

## 入学式

平成30年4月2日(月)、県下大学トップで入学式を挙行了しました。保健科学部368名(医学検査学科116名、看護学科115名、リハビリテーション学科の理学療法学専攻47名、生活機能療法学専攻48名、言語聴覚学専攻42名)大学院保健科学研究科7名、助産別科21名、認定看護師教育課程23名、総計419名の新入学生を迎え、多数のご来賓、保護者の皆様にご臨席をいただきました。

崎元学長は式辞の中で、講義や実習など勉学にくじけそうになった時の対処法として、いくつかのアドバイスを述べられました。新入学生を代表して、今年は医学検査学科 今福実里さんが「医療に携わる人間としての確かな判断能力と高い倫理観を培い、学識を深め、人格の形成に精進する」ことを宣誓しました。熊保大の生活がスタートしました。(総務課)



N&amp;T

## 学友会 新入生歓迎パーティー

学友会副会長 神田 眞衣



平成30年4月5日(水)、熊本市中央区水道町のメルパルク熊本にて新入生歓迎パーティーを開催しました。新入生歓迎パーティーの主な目的は新入生同士の交流と新入生へのおもてなしです。今年度も多くの新入生、先生方に参加していただきました。今年度は昨年度からの企画「めくって!はい&ろー」を大幅に変更し、「熊保大クイズ大会」を開催しました。新入生をランダムに振り分けた各テーブルに学友会役員を配置し、積極的に新入生同士の交流を図りました。クイズが進むごとに始めは緊張していた新入生にも楽しんでいる様子が見られ、準備・企画を頑張った本当に良かったと感じました。今回の新入生パーティーで学友会役員も新入生と交流することができ、現在、学友会役員として活動してくれている新入生も多くなります。新入生歓迎パーティーで生まれた繋がりをこれからの学生生活でも大切に活動していきたいと思います。参加して下さった新入生の皆さん、協力して下さった先生方、本当にありがとうございました。



N&amp;T

## 後援会役員紹介

本学後援会は、前身である銀杏学園短期大学の開学(昭和43年)と同時に結成されました。学園における教育の発展と施設の充実、会員と大学との協調を図ることを目的として、全ての学生の保護者に会員になっていただき、ご支援をお願いしております。

後援会総会は例年同様、平成30年度熊本保健科学大学入学式当日の4月2日に開催されました。

総会では平成29年度決算報告、平成30年度予算案等の審議が行われ、役員改選では、卒業・入学等に伴い7名の役員が退任されると共に、新たに7名の役員が就任されました。

以下に、新役員を紹介します。(敬称略)

会長(1名): 坂井 美和

副会長(3名): 山下 直美, 上土井 恭子, 濱岡 靖子

理事(12名): 古賀 晴美, 坂本 恵, 若宮 由美, 内田 富美代, 栗屋 由香, 井上 智勝, 西坂 りえ, 西澤 厚子, 中山 美樹, 松田 恵美子, 赤星 恵美, 樋口 達巳

監事(3名): 藤本 せいか, 宮崎 ゆかり, 宮本 理恵

会計(1名): 中西 淑子

※下線の方が新たに就任されました。(学務課)

平成29年度進路（就職・進学）状況についてご報告いたします。就職について、就職決定率は医学検査学科が100%（102名／102名中）、看護学科が100%（94名／94名中）、リハビリテーション学科の理学療法学専攻が100%（41名／41名中）、生活機能療法学専攻が100%（35名／35名中）、言語聴覚学専攻が100%（35名／35名中）、助産別科が100%（21名／21名中）でした。また、就職先施設は、国公立病院、大学附属病院、民間病院、保健医療系企業などでした。進学について、15名（看護学科12名、リハビリテーション学科理学療法学専攻3名）が本学大学院・助産別科、熊本大学養護教諭特別別科などへの進学でした。従って、進路決定率は100%（343名／343名中）でした。

私たち教職員は、学生たちの充実した就職環境を整えるとともに、全力で学生たちの就職活動を支援いたします。卒業生・修了生の皆様方におかれましても、より一層本学へのご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

第101回助産師国家試験は平成30年2月15日に実施され、助産別科11期生21名が受験し21名全員合格しました。第104回保健師国家試験は平成30年2月16日に実施され、看護学科12期21名中19名合格(90.5%)、第107回看護師国家試験は平成30年2月18日に実施され、看護学科12期110名中108名合格(98.2%)しました。

第64回臨床検査技師国家試験は平成30年2月21日に実施され、医学検査学科12期生101名が受験し97名合格(96.0%)でした。

第53回理学療法士国家試験および第53回作業療法士国家試験が平成30年2月25日に実施され、リハビリテーション学科理学療法学専攻8期生45名が受験し44名合格(97.8%)し、生活機能療法学専攻8期生42名が受験して36名合格(85.7%)しました。第20回言語聴覚士国家試験は平成30年2月17日に実施され、言語聴覚学専攻4期生36名が受験し35名合格(97.2%)でした。

本学卒業生合格率を全国平均と比較すると、助産師は100%（全国平均+1.3%）、保健師90.5%（全国平均+9.1%）、看護師98.2%（全国平均+7.2%）、臨床検査技師96.0%（全国平均+16.7%）、理学療法士97.8%（全国平均+16.4%）、作業療法士85.7%（全国平均+8.1%）および言語聴覚士97.2%（全国平均+17.9%）と、いずれも全国平均を上回りとても素晴らしい成績でした。

平成30年度の認定式に臨んだ新3年生は109名でした。緊張した中にもすがすがしく臨地実習に臨む決意の表明をしていました。認定式の正式名称は、臨地実習認定書授与式です。そこで学長から一人ひとりわたされるものが臨地実習適格認定書です。それには、1・2年次の基礎教育を経た学生を一定の知識・技術・思慮・仁愛があると認め、“病院や在宅そして公衆衛生領域において、患者さんや利用者さんを前に看護学生として実習に臨むことを了解します”という意味があり、一方でそれなりの覚悟をもつことを求めています。

臨地実習は、学内で学んだ知識・技術・態度を自ら統合し、より一層理解を深めていくために不可欠の学習です。特に看護実践に極めて重要な援助的人間関係形成力や専門職者としての役割や責務を果たす力は、患者さんや利用者さん等と相対し、緊張しながら学生自らが看護行為を行う過程で育まれると言われており、たいへん重要な学習機会でもあります。



平成30年度の保護者会を4月21日（学部4年生）、5月12日（看護学科3年生）両日、本学にて開催いたしました。その主たる目的は、国家試験合格・就職内定を獲得することや、学外実習をより有意義なものにするために、学生本人、保護者の皆さま、大学教職員の意思疎通を強化し、今後の学生生活をより充実させる覚悟で臨むためのスタートの日にすることです。

当日は崎元学長による大学の概要説明に始まり、各学科・専攻に分かれての分科会、担当教員との面談などが行われ、活発な意見交換がなされました。

両日とも週末にも関わらず、ご参加いただきありがとうございました。（就職支援課）



# ～新任教職員紹介 ようこそ、熊本保健科学大学へ～

## 医学検査学科

**上妻行則**  
(こうづまゆきのり)  
准教授

4月1日より医学検査学科に着任いたしました。前職は筑波大学の教員として9年間勤務しておりました。本学では血液検査学や輸血・移植検査学など血液関連科目を担当致します。豊富な知識や高い技術を備えた地域医療・研究に貢献できる人材の輩出に精進する所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。



**登尾一平**  
(のほらおいっぺい)  
助教

## 医学検査学科

4月1日付けで医学検査学科に着任いたしました登尾 一平と申します。前職は鹿児島県の病院で認定輸血検査技師として輸血検査・検体検査に従事しておりました。臨床で得た経験と検査技術を活かし、優れた臨床検査技師教育の一助となれるよう尽力して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



**才藤愛海**  
(さいとうまなみ)  
教務嘱託

## 医学検査学科

4月1日より医学検査学科に着任いたしました。前職では宮崎県の病院に勤務しており、幅広い業務に携わっていました。私自身も熊本保健科学大学の卒業生ですので、母校で働けることに感謝しています。今までの経験を生かして、学生さんのためになる指導を目指して頑張りますのでよろしくお願い致します。

## リハビリテーション学科 生活機能療法学専攻



**小手川耕平**  
(こてがわこうへい)  
助教

作業療法士の資格取得後、一般病院で主に身体障害領域のリハビリを担当しながら、他大学で高齢者の運動イメージ能力に関する研究を行って来ました。今後は研究を続けながら、リハビリテーション職種を目指す学生に作業療法の魅力や楽しさを伝えることができればと思っておりますので、よろしくお願い致します。

## リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻



**井崎基博**  
(いさきもとひろ)  
准教授

言語聴覚学専攻に着任いたしました。言語発達障害学などの科目を担当させて頂いております。これまでは、地域の発達支援センターでの臨床、大学でのST養成教育、言語発達障害児の研究に携わって来ました。この大学・進路を選んでよかったと学生の皆さんに思ってもらえるよう努めますので、よろしくお願い致します。

## リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻



**畑添涼**  
(はたぞえりょう)  
助教

はじめまして。4月より、リハビリテーション学科言語聴覚学専攻に入職しました。以前は、熊本市の回復期リハビリテーション病院に勤めておりました。患者さんとの日々の臨床を通して学ばせて頂いたことを、教育の場で活かしていきたいと思っております。不慣れな点もございりますが、宜しくお願い致します。

## 共通教育センター



**田中恵理**  
(たなかえり)  
講師

4月1日よりお世話になっております。英語、文学入門、基礎セミナーを担当しています。本学の学生さんが今以上に「英語が好き」「英語が得意」になり、グローバルな世界で活躍できるよう、また、文学作品を通して自ら問いを見つけ、考え、伝える力を養えるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

## 認定看護師教育課程



**岡野琴絵**  
(おかのことえ)  
助教

4月1日より認定教育課程 認知症・脳卒中分野の専任教員としてお世話になっております。3月までは脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として臨床で活動してました。教員という立場は初めてで不慣れではありますが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

## 法人事務局・大学事務局

**田代花梨**  
(たしろかりん)  
総務部長付

4月1日付けで入職いたしました。学生の皆さんの明るさと若さに元気を分けていただきながら毎日業務に当たっています。まだまだ不慣れなことばかりですが、早く学生の皆さんのサポートができるよう、そしてよりよい大学づくりができれば、日々学びながら精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

## 法人事務局・大学事務局



**佐々木康雄**  
(ささきやすお)  
就職支援課一般嘱託

4月1日付けで就職支援課に配属になりました。佐々木康雄と申します。前職は臨床検査技師として国立病院機構熊本再春荘病院で勤務しておりました。私も本学の前身の銀杏短大卒であり、後輩達の進路指導も含め就活が学生の望む最善の志望先に入職出来るように精一杯サポートさせて頂きます。皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

## 法人事務局・大学事務局



**原口奈美**  
(はらくちなみ)  
教学支援課・学生相談  
修学サポートセンター  
一般嘱託

3月19日より、学生相談・修学サポートセンターの一般嘱託事務として勤務させて頂いております。大学という環境が好きで、こちらで働けることをとてもありがたく思っております。これまで他大学で研究室事務をしておりましたが、新たな気持ちで日々学びながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

## 法人事務局・大学事務局



**安部悠介**  
(あべゆうすけ)  
企画課・人事課  
一般嘱託

3月より、企画課・人事課の一般嘱託職員として、入職致しました安部悠介と申します。これまで10年ほど教育関係の仕事をしていましたが、大学事務局は未経験のため、ご迷惑をおかけすることもあるかと思っております。一日も早く皆様のお力になれるようがんばりますので、よろしくお願い致します。

## 法人事務局・大学事務局

**岡本真美**  
(おかもとまみ)  
総務課一般嘱託

2月より、経理課の一般嘱託職員として入職致しました岡本真美と申します。入職して数ヶ月経ちましたが、まだまだ戸惑うことや不慣れなことも多く、毎日が慌ただしく過ぎていきます。皆様には御迷惑をおかけすることも多々ありますが、本学に必要な人材になれるよう精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

# 地域連携

## 「第 19 回花と食の祭典」

(平成 30 年 5 月 3 日 (木) ~ 5 月 4 日 (金) 会場: フードパル熊本食品交流会館)

株式会社フードパル熊本主催のイベント「花と食の祭典」に参加し、一般の方を対象に健康チェックを実施しました。医学検査学科では体成分測定・骨密度測定・血管年齢測定を、リハビリテーション学科言語聴覚学専攻ではことばのチェック・飲み込みチェックを教員の指導のもと学生が行いました。イベント 1 日目は 170 名、2 日目には 226 名の方が本学のコーナーで測定を受けられ、好評を博しました。これからも医療系大学の特性を活かした内容で地域に貢献していきたいと思えます。



## 「西里校区グラウンドゴルフ大会」

平成 30 年 5 月 20 日 (日) 初夏の陽気にめぐまれた中、本学グラウンドで、第 74 回西里校区グラウンドゴルフ大会が開催されました。総勢 170 名ほどの方々が日頃の力を発揮しようと集まり、グラウンドゴルフを楽しまれました。本学からも学生 5 名と職員 2 名が参加し、日頃お世話になっている地域の方々と一緒にプレイを楽しみ、和気あいあいとした雰囲気の中で交流ができていました。

(地域連携委員会事務局)



## 久しぶり、逢おうかい(会)!!

平成 29 年 8 月 11 日 (金)、ホテル日航熊本におきまして、「久しぶり、逢おうかい(会)」を開催いたしました。この取り組みは、卒業 5 年という一つの節目に卒業生と教職員が親睦を深め、今後の関わりを更に継続していくことが主な目的です。本企画は恒例となっております卒業 1 年目の同期会「久しぶり、元気かい(会)」を発展させたものであり、初めての試みで医学検査学科が先行して実施いたしました。当日は 48 名(医学検査学科卒業生 20 名、教職員 28 名)の方々にご参加いただきました。参加された方からは、「大学院で専門的なスキルを磨いています」、「結婚しました」など、色々な近況報告を聞くことができました。今後は、他学科・専攻の卒業生が参加できるよう拡大していく予定です。ご参加された卒業生の皆さまが、今後益々活躍されることを祈念いたします。



## 久しぶり、元気かい(会)!!

平成 30 年 2 月 10 日 (土)、ザ・ニューホテル熊本におきまして、平成 28 年度卒業生の同期会「久しぶり、元気かい(会)」を盛大に開催いたしました。この「久しぶり、元気かい(会)」とは、卒業生(卒業 1 年目)を対象としたイベントで、懇親会を通して情報交換や近況報告を行い、相互に親睦を深めることが目的です。当日は、過去の参加者数で最も多い 239 名(医学検査学科卒業生 85 名、看護学科卒業生 17 名、リハビリテーション学科卒業生 74 名、教職員他 63 名)の方々にご出席いただきました。一年ぶりの再会で、学生時代の思い出や、普段抱えている仕事の悩み、現在取り組んでいることなど、色々な会話が飛び交っていました。一年前とは違い、皆さんの大人になった姿を見ることが出来て大変嬉しく思います。今後益々のご活躍を祈念しております。

(就職支援課)

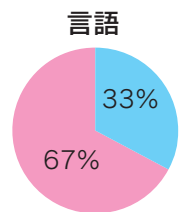
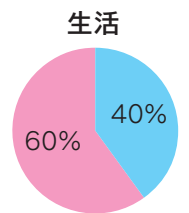
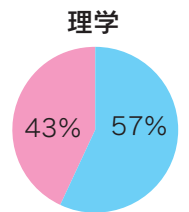
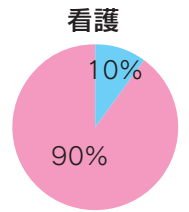
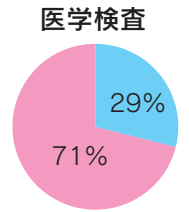




# 平成30年度入学試験結果

学科	入試区分	募集数	志願者	合格者	入学者	志願倍率	実質倍率	
医学検査学科	指定校推薦	15	9	9	9	—	—	
	一般推薦	35	60	35	35	1.7	1.7	
	一般	40	207	103	64	5.2	2.0	
	センター（前期）	5	108	47	6	21.6	2.3	
	センター（後期）	5	7	4	2	1.4	1.8	
	学科合計	100	391	198	116	3.9	2.0	
看護学科	指定校推薦	15	11	11	11	—	—	
	一般推薦	32	88	32	32	2.8	2.8	
	一般	43	291	118	61	6.8	2.5	
	センター（前期）	5	117	52	6	23.4	2.3	
	センター（後期）	5	16	5	5	3.2	3.2	
	学科合計	100	523	218	115	5.2	2.4	
リハビリテーション学科	理学療法学専攻	指定校推薦	5	4	4	4	—	—
		一般推薦	15	40	15	15	2.7	2.7
		一般	15	91	39	25	6.1	2.3
		センター（前期）	3	50	24	2	16.7	2.1
		センター（後期）	2	2	2	1	1.0	1.0
		社会人	若干名	0	0	0	—	—
	専攻合計	40	187	84	47	4.7	2.2	
	生活機能療法学専攻	指定校推薦	5	4	4	4	—	—
		一般推薦	15	30	15	15	2.0	2.0
		一般	15	55	32	25	3.7	1.7
		センター（前期）	3	54	24	4	18.0	2.3
		センター（後期）	2	2	0	0	1.0	—
		社会人	若干名	0	0	0	—	—
	専攻合計	40	145	75	48	3.6	1.9	
	言語聴覚学専攻	指定校推薦	5	2	2	2	—	—
		一般推薦	15	22	15	15	1.5	1.5
		一般	15	41	22	19	2.7	1.9
		センター（前期）	3	54	38	5	18.0	1.4
		センター（後期）	2	2	1	1	1.0	2.0
		社会人	若干名	0	0	0	—	—
	専攻合計	40	121	78	42	3.0	1.6	
学科合計	120	453	237	137	3.8	1.9		
保健科学部合計	320	1,367	653	368	4.3	2.1		

入学者の男女比



■ 男 ■ 女

## 平成30年度 学生在籍者数

(5月1日現在)

	保健科学部							助産別科	大学院保健科学研究科	認定看護師教育課程 (認知症看護分野)	大学合計
	医学検査学科	看護学科	リハビリテーション学科				学部合計				
			理学療法学専攻	生活機能療法学専攻	言語聴覚学専攻	学科合計					
1年	116	116	50	49	46	145	377	21	7	24	429
2年	117	112	44	41	43	128	357		8		365
3年	115	113	45	47	51	143	371				371
4年	119	122	49	46	48	143	384				384
計	467	463	188	183	188	559	1,489	21	15	24	1,549

# 同窓会活動

## 「医学検査学科同窓会講演会」

2月24日(土)、本学にて第44回医学検査学科同窓会総会・講演会及び懇親会を開催しました。講演会では、レモンさんこと、ラジオDJの山本シュウさんが「繋がり～We Are シンセキ～」と題し、人と人の絆について熱く講演いただきました。お節介な男おばちゃんと自称するレモンさんの持つ圧倒的な熱さで、「笑い・涙・感動・学び・気づき」の講演を行っていただきました。その後、次の予定の直前まで、本学レストランで開催した懇親会にも参加して下さいました。懇親会では同窓生のより深い繋がりを作ろうと、世代を超えた交流を行うことができました。最後に参加者全員で学園歌を斉唱し、今後の大学の発展を祈念し万歳三唱の後、閉会しました。

同窓会を実行するにあたり、お世話になりました崎元達郎学長をはじめ、同窓生の先輩方に深謝致します。

(熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科 山本隆敏)

## 学友会役員紹介



平成30年度学友会会長  
医学検査学科3年 松成 謙介

本年度学友会会長を務めさせていただく医学検査学科3年の松成謙介です。副会長の神田真衣(生活機能療法学専攻3年)、東千尋(生活機能療法学専攻2年)、他91名のメンバーで先生方や、事務局の皆様、4年生相談役の力をお借りして1年間頑張っています。

学友会役員には、9役職29名の役員がいます。今年度より学友会会則の改正を行い、広報とクラブ担当の増員を行いました。これを機に今まで以上に活発に活動を行えるように努めてまいります。

今年度の学友会の方針は、継続と挑戦です。継続に関しては短期大学時代から受け継がれているこの学友会という組織の歴史や伝統を大切に、更に良いものにして次の世代に繋げていこうと思います。具体的には昨年から行っている引き継ぎ書や引き継ぎ方法の再検討を行います。二つ目の挑戦に関しては、現状維持に満足せず常に向上心を持って活動をしていくことを目標としています。今年度は杏祭のメインステージを3月に竣工された新アリーナで行います。初めてのことで課題も多々ありますが杏祭実行委員長をはじめ学友会運営部全体で協力して熊保大の1大イベントを作りあげていこうと思います。10月20日に行いますので皆さん是非お越しください。

学友会のメンバーは学科の枠を超えて仲が良く、仕事に真面目に取り組みながらも楽しさを忘れません。学友会運営部全員で活動に取り組み、互いに高め合える組織です。

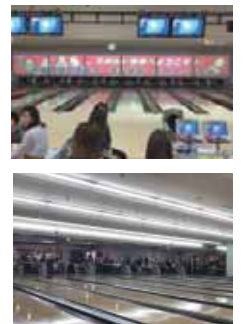
多くの活動を通して、本大学がより一層層いものなるように学友会一同頑張りたいと思います。ぜひ温かいご支援をお願いします。

## 球技大会



平成30年度学友会副会長  
リハビリテーション学科  
生活機能療法学専攻2年 東 千尋

6月16日(土)スポーツ熊本にてボウリングを競技とした球技大会を開催しました。教職員を含め計176人にご参加いただきました。1チーム4名とし2ゲームを行い、合計スコアで競い合いました。1位から3位に加え、ブービー賞として看護学科同窓会賞を設け、賞金を用意しました。同学科・学年のチームから他学科・学年、男女混合のチームまでとチーム編成は様々でした。大会前から練習を行い上位を狙うチームや思い作りとして参加するチームなど楽しみ方はそれぞれで会場は終始、賑やかで活気が溢れていました。運営は新体制となった学友会生が行い、会場のスタッフさんと連携をとりながらスムーズに大会を進めることができました。今回の大会に協力していただいた方々、ありがとうございました。今後も皆さんの大学生活が笑顔溢れるものとなるようなイベントを企画していきたいと思ひます。皆で大学を盛り上げていきましょう。



## CIRCLE INFORMATION

### 登山部

皆さん、こんにちは。私たちは登山部として主に学外で活動しています。登山と聞いて、「私には無理!」と思った方もいるかもしれませんが、登山といっても標高何千mもある山に登る過酷なことにはしていません(笑)。もちろん目標は日本一の山に登りたい!という想いはありますが、。現に部員も女子学生が多く、男女、学年、学科の垣根を越えて和気あいあいと長期休暇などを利用して活動しています。大学生になって運動不足気味になった方、先輩との交流を持ちたい方など理由はなんでも良いんです!仲間と手を取って目標に向かって歩きますか?頂上からの景色は格別ですよ。



部長 池田皓紀  
部員 20名程度  
活動場所 学外

### 茶道部

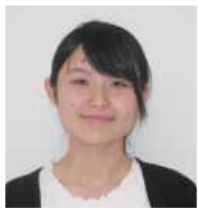
私たちは茶道を通して和の心やおもてなしの心を学んでいます。月2回、外部講師の先生をを招いて季節に合わせたお点前のお稽古を行っています。大きな活動としては、7月にある裏千家学校茶道合同茶会と杏祭での出店です。経験者もいますが大学で茶道を始めた人が多く、また真剣に取り組むことで裏千家の初級許状を取得することも可能です。もちろん抹茶や和菓子が好きだからやってみたいという方も大歓迎です。私たちと一緒に茶道を楽しみませんか?



部長 永井伶実  
部員 6名  
活動場所 3号館 3320 実習室

# 新入生 インタビュー

今年度の新入生に入学しての感想・これからの抱負・楽しみにしている事 etc...をインタビュー！



看護学科  
齊所 カナン

そして、自分の視野を広げていきたいです。  
**最後にひとこと！**  
自分の理想とする看護師になれるように4年間しっかりと頑張りたいと思います。

## Q1. 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

入学当時は不安なことが多く、緊張続きの毎日でしたが、今では友人と楽しく過ごすことができている。施設もとても充実しており大変過ごしやすいです。専門分野の講義もとても興味深く、勉強も楽しいです。

## Q2. 大学生活でやってみたいことは？

短期留学やサークル活動、ボランティア活動などに参加してみたいと思っています。大学生ならではの活動を楽しみつつ、たくさんの人と交流できたらいいなと思



リハビリテーション学科 生活機能療法専攻  
松嶋 菜月

会い、多くのことを経験していきたいです。また、アルバイトを通して、社会勉強もしていきたいと思っています。

**最後にひとこと！**  
たくさんの人たちとの出会いを大切に、素敵な作業療法士になれるよう4年間がんばりたいです。

## Q1. 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

高校生の時とは違い、すべてを自分自身で選択していかなければならないと実感しています。周りの友達も明るく優しい人たちが多く、楽しい4年間になりそうです。また、皆同じ医療人を目指しているので、多くの刺激を受けて成長できるいいなと思います。

## Q2. 大学生活でやってみたいことは？

様々なボランティア活動とアルバイトです。高校生の時よりも多くのボランティア活動ができるので、たくさんの人と出会



助産別科  
久貝 碧

に参加する機会が何度かあるため、そこで妊婦やその家族との関わり方を身につけていきたいです。また、助産別科全員で行っているHealing Herbでは、アロマに関する活動を行っているため、アロマについて学び、今後に活かせることができたらいいなと思っています。

**最後にひとこと！**  
1年間という短い期間で、毎日授業や実習などで忙しいですが、上手くオンオフを切り替えながら、最後の学生生活を充実させていきたいです。

## Q1. 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

私は、本学の看護学科を卒業後、助産別科に入学しました。そのため、学部の方から引き続きサポートを受けることができ、通い慣れた環境で安心して、学校生活を送ることができています。授業は看護学科の時に比べて専門性が増し、大変なこともあります。同じ夢を目指す仲間たちと一緒に頑張っていきたいです。

## Q2. 大学生活でやってみたいことは？

実習以外でも地域でのボランティア活動

医学検査学科  
上村 寿将

**最後にひとこと！**  
立派な臨床検査技師になれるように頑張ります！

## Q1. 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

毎日充実した大学生活を送れています。高校の時とは全く違った環境で、同じ目標を持った友達と過ごしているとたくさん刺激を受け、勉強は難しく大変ですが頑張れます。

## Q2. 大学生活でやってみたいことは？

やりたいことはたくさんありますが、高校の時にボランティア活動にあまり参加できなかったので積極的に参加したいです。そして、長期休みを使ってどこか旅行にもいきたいです。

## Q1. 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

今まで住んでいた地域とは違う場所で、全く新しい環境の中で生活することになったので、不安なことが多い中の学校生活だったのですが、先生や先輩方が様々なサポートをしてくださるとても良い学校だと感じています。

## Q2. 大学生活でやってみたいことは？

サークル活動とアルバイトをバランスよく行い、自立した生活が送れるようにしたいです。初めての一人暮らしなので、食生活が乱れないように自炊をしていき

リハビリテーション学科 理学療法専攻  
竹松 怜也

たいです。  
**最後にひとこと！**  
熊本は良い環境でしっかりとサポートしてくださる先生や先輩方が多数いらっしゃいます。自分の目指す理想のPTになれるように頑張っていきたいと思います！



リハビリテーション学科 言語聴覚専攻  
河津 拓実

ということを学びたいです。又、旅行をする中で、様々な場所を訪れ、自分自身の見聞を広めていきたいと思っています。

**最後にひとこと！**  
大学生活を通して、様々なことを経験し、人間的に豊かで、且つ、現場の中核となるSTになるべく、精進して参ります。

## Q1. 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

高校の時と比較して自由度が増した分、自己管理・自律を徹底しないといけないと実感しております。同じ目標を持った仲間や先輩方、熱意溢れる先生方と共に、学修・人間力向上に努めようと思っています。

## Q2. 大学生活でやってみたいことは？

アルバイト・ボランティア・旅行などです。アルバイト・ボランティア活動を通して、社会に貢献するとはどういうことか、社会に出て活躍するために必要な力は何か、ということを知りたいです。

## Q1. 熊本保健科学大学に入学しての感想は？

大学院生の半数以上は、社会人であり、お互いの専門分野の情報交換もでき、忙しいながらも充実した時間を過ごしています。仕事・子育てもあり、正直不安もありますが、長期履修制度や先生方の手厚いサポートなどを最大限に活用し、いろんなことに挑戦したいと思っています。

## Q2. 大学生活でやってみたいことは？

専門分野に限らず、広い視点で医療・介護・福祉について学びたいです。また、研究の展開の仕方や論文作成など基本的なこととはもちろん、将来の臨床検査の発展に貢献できるような知識・技術の習得ができればいいと考えています。

保健科学研究科保健科学専攻 臨床検査専攻  
原口 実紗

**最後にひとこと！**  
社会人で大学院に通うことは、自分だけの問題ではなく、家族や職場、周囲の理解がなければ簡単なことではないと思います。周囲のサポートに感謝を忘れず、目標を明確にして取り組みたいです。

## 平成29年度決算報告

(経理課長 平緒泰弘)

学校法人銀杏学園の平成29年度決算は、平成30年5月30日開催の評議員会及び理事会において承認されましたので、事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表を掲載し報告いたします。

平成29年度の事業活動収支決算は、事業活動収入が2,501百万円で、前年度より7百万円の増加でした。これは、経常費等補助金や寄付金などの収入が減少しましたが、特別収入として熊本地震に伴う施設整備補助金44百万円が計上されたことなどが主な要因です。事業活動支出は2,476百万円で、前年度より175百万円の増加でした。これは、教育研究経費が減少しましたが、人件費が増加したこと、新アリーナ建設の道路拡幅のために熊本市に道路寄付129百万円を実施したこと

より管理経費が増加したことなどが主な要因です。この結果、事業活動収入2,501百万円から事業活動支出2,476百万円を引いた当年度収支差額は25百万円となり、収支均衡を達成することができました。

平成29年度の資金収支決算は、収入から支出を差し引いた収支差額が1,122百万円の支出超過となりました。これは、新アリーナ竣工に伴う施設関係支出が増加したことが主な要因です。

この結果、前年度の繰越支払資金2,676百万円から翌年度への繰越支払資金は1,554百万円となりました。

### 事業活動収支計算書要約 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:千円)

科 目		平成29年度決算	平成28年度決算	増 減	科 目		平成29年度決算	平成28年度決算	増 減
教育活動収入	学生生徒等納付金	2,016,350	2,020,840	△ 4,490	特別収入	資産売却差額	0	0	0
	手数料	44,361	43,582	779		その他の特別収入	51,922	16,618	35,304
	寄付金	3,320	13,807	△ 10,487		特別収入計	51,922	16,618	35,304
	経常費等補助金	287,612	307,230	△ 19,618		資産処分差額	29	1,540	△ 1,511
	付随事業収入	4,280	2,880	1,400		その他の特別支出	0	2,967	△ 2,967
	雑収入	49,781	31,673	18,108		特別支出計	29	4,507	△ 4,478
	教育活動収入計	2,405,704	2,420,011	△ 14,307		特別収支差額	51,893	12,111	39,782
	人件費	1,261,887	1,185,699	76,188		基本金組入前当年度収支差額	24,972	192,643	△ 167,671
	教育研究経費	877,741	919,257	△ 41,516		基本金組入額合計	△ 1,212,563	△ 424,122	△ 788,441
	管理経費	336,517	190,309	146,208		当年度収支差額	△ 1,187,591	△ 231,479	△ 956,112
徴収不能額等	0	1,300	△ 1,300	前年度繰越収支差額	△ 1,333,751	△ 1,102,272	△ 231,479		
教育活動支出計	2,476,145	2,296,565	179,580	基本金取崩額	0	0	0		
教育活動収支差額	△ 70,440	123,446	△ 193,886	翌年度繰越収支差額	△ 2,521,342	△ 1,333,751	△ 1,187,591		
教育活動外収入	受取利息・配当金	43,519	57,086	△ 13,567	(参考)				
	その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動収入計	2,501,146	2,493,715	7,431	
	教育活動外収入計	43,519	57,086	△ 13,567	事業活動支出計	2,476,174	2,301,072	175,102	
	借入金等利息	0	0	0					
	その他の教育活動外支出	0	0	0					
	教育活動外支出計	0	0	0					
	教育活動外収支差額	43,519	57,086	△ 13,567					
経常収支差額	△ 26,921	180,532	△ 207,453						

### 資金収支計算書要約 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:千円)

収入の部				支出の部			
科 目	平成29年度決算	平成28年度決算	増 減	科 目	平成29年度決算	平成28年度決算	増 減
学生生徒等納付金収入	2,016,350	2,020,840	△ 4,490	人件費支出	1,270,653	1,181,281	89,372
手数料収入	44,361	43,582	779	教育研究経費支出	524,159	580,062	△ 55,903
寄付金収入	3,320	15,213	△ 11,893	管理経費支出	185,281	173,854	11,427
補助金収入	331,967	317,939	14,028	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	0	600,000	△ 600,000	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	4,280	2,880	1,400	施設関係支出	1,625,275	415,980	1,209,295
受取利息・配当金収入	43,519	57,086	△ 13,567	設備関係支出	103,987	151,291	△ 47,304
雑収入	49,781	31,673	18,108	資産運用支出	300,003	10	299,993
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	151,649	119,792	31,857
前受金収入	349,410	339,075	10,335				
その他の収入	38,154	60,028	△ 21,874				
資金収入調整勘定	△ 378,862	△ 455,376	76,514	資金支出調整勘定	△ 536,015	△ 143,704	△ 392,311
前年度繰越支払資金	2,676,406	2,122,032	554,374	翌年度繰越支払資金	1,553,695	2,676,406	△ 1,122,711
収入の部合計	5,178,687	5,154,972	23,715	支出の部合計	5,178,687	5,154,972	23,715

### 貸借対照表要約 (平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部				負債の部				純資産の部			
科 目	平成29年度末	平成28年度末	増 減	科 目	平成29年度末	平成28年度末	増 減	科 目	平成29年度末	平成28年度末	増 減
固定資産	8,633,023	7,101,156	1,531,867	固定負債	156,338	165,105	△ 8,767	基本金	11,661,386	10,448,824	1,212,562
有形固定資産	6,754,312	5,546,736	1,207,576	退職給与引当金	156,338	165,105	△ 8,767	第1号基本金	11,519,386	10,306,824	1,212,562
土地	1,503,884	1,498,092	5,792	流動負債	934,651	538,063	396,588	第4号基本金	142,000	142,000	0
建物	4,136,426	2,640,999	1,495,427	未払金	533,342	139,250	394,092	繰越収支差額	△ 2,521,342	△ 1,333,751	△ 1,187,591
その他の有形固定資産	1,114	1,408	△ 294	前受金	349,410	339,075	10,335	翌年度繰越収支差額	△ 2,521,342	△ 1,333,751	△ 1,187,591
特定資産	170,000	170,000	0	預り金	51,899	59,738	△ 7,839	純資産の部合計	9,140,045	9,115,073	24,972
その他の固定資産	1,708,711	1,384,420	324,291	負債の部合計	1,090,989	703,168	387,821	負債及び純資産の部合計	10,231,034	9,818,241	412,793
流動資産	1,598,011	2,717,084	△ 1,119,073								
現金預金	1,553,695	2,676,406	△ 1,122,711								
その他の流動資産	44	41	3								
資産の部合計	10,231,034	9,818,241	412,793								

## 平成30年度予算報告

(経理課長 平緒泰弘)

学校法人銀杏学園の平成30年度予算は、平成30年3月14日開催の評議員会及び理事会において承認され、平成30年5月30日の決算承認に伴う補正により当初予算として確定しましたので、事業活動収支予算書、資金収支予算書を掲載し報告いたします。

平成30年度の事業活動収支予算は、事業活動収入が2,477百万円で、前年度決算2,501百万円より24百万円減少します。これは、教育活動収入や教育活動外収入は微増となるものの、特別収入については、前年度の熊本地震に伴う施設整備補助金44百万円が計上されないことなどが主な要因です。事業活動支出は2,458百万円で、前年度決算2,476百万円より19百万円減少します。これは、人件費や減価償却額を要因とする教育研究経費の増加がみられるものの、管理経費については、前年度の熊本市への道路寄付金129百万円

が支出として計上されないことなどが主な要因です。その結果、事業活動収入(2,477百万円)と事業活動支出(2,438百万円)の差額である事業活動収支差額は19百万円となり、収支は均衡する見込みです。

平成30年度の資金収支予算は、資金収入(3,352百万円)から資金支出(3,645百万円)を引いた資金収支額293百万円の支出超過となり、前年度決算の1,123百万円の支出超過より減少する見込みです。これは、キャンパス拡張計画のアーリー竣工の影響が主な要因であり、施設関係支出が1,497百万円減少する一方、アーリー竣工による支払の一部が本年度となり、その他の支出が382百万円増加することによるものです。前年度からの繰越支払資金1,554百万円と比較して、翌年度繰越支払資金(期末資金)は1,261百万円となる見込みです。

### 事業活動収支予算書要約 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:千円)

科 目		平成30年度予算	平成29年度決算	増 減	科 目		平成30年度予算	平成29年度決算	増 減
教育活動収入の部	事業活動収入の部				特別収支	資産売却差額	0	0	0
	学生生徒等納付金	2,065,100	2,016,350	48,750		その他の特別収入	6,000	51,922	△45,922
	手数料	49,950	44,361	5,589		特別収入計	6,000	51,922	△45,922
	寄付金	4,000	3,320	680		資産処分差額	1,530	29	1,501
	経常費等補助金	280,132	287,612	△7,480		その他の特別支出	0	0	0
	付随事業収入	0	4,280	△4,280		特別支出計	1,530	29	1,501
	雑収入	23,923	49,781	△25,858		特別収支差額	4,470	51,893	△47,423
	教育活動収入計	2,423,105	2,405,704	17,401		[予備費]	30,000		30,000
	事業活動支出の部					基本金組入前当年度収支差額	19,470	24,972	△5,502
	人件費	1,312,273	1,261,887	50,386		基本金組入額合計	△256,686	△1,212,563	955,877
教育研究経費	899,783	877,741	22,042	当年度収支差額	△237,216	△1,187,591	950,375		
管理経費	214,049	336,517	△122,468	前年度繰越収支差額	△2,521,342	△1,333,751	△1,187,591		
徴収不能額等	0	0	0	基本金取崩額	0	0	0		
教育活動支出計	2,426,105	2,476,145	△50,040	翌年度繰越収支差額	△2,758,558	△2,521,342	△237,216		
教育活動収支差額	△3,000	△70,440	67,440						
教育活動外収支	収入の部				(参考)				
	受取利息・配当金	48,000	43,519	4,481	事業活動収入計	2,477,105	2,501,146	△24,041	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動支出計	2,457,635	2,476,174	△18,539	
	教育活動外収入計	48,000	43,519	4,481					
	借入金等利息	0	0	0					
支出の部	その他の教育活動外支出	0	0	0					
	教育活動外支出計	0	0	0					
	教育活動外収支差額	48,000	43,519	4,481					
	経常収支差額	45,000	△26,921	71,921					

### 資金収支予算書要約 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:千円)

収入の部				支出の部			
科 目	平成30年度予算	平成29年度決算	増 減	科 目	平成30年度予算	平成29年度決算	増 減
学生生徒等納付金収入	2,065,100	2,016,350	48,750	人件費支出	1,312,273	1,270,653	41,620
手数料収入	49,950	44,361	5,589	教育研究経費支出	532,783	524,159	8,624
寄付金収入	4,000	3,320	680	管理経費支出	184,189	185,281	△1,092
補助金収入	280,132	331,967	△51,835	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	851,100	0	851,100	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	0	4,280	△4,280	施設関係支出	128,270	1,625,275	△1,497,005
受取利息・配当金収入	48,000	43,519	4,481	設備関係支出	128,416	103,987	24,429
雑収入	23,923	49,781	△25,858	資産運用支出	800,000	300,003	499,997
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	533,342	151,649	381,693
前受金収入	339,090	349,410	△10,320	[予備費]	30,000		30,000
その他の収入	39,787	38,154	1,633	資金支出調整勘定	△4,529	△536,015	531,486
資金収入調整勘定	△349,410	△378,862	29,452	翌年度繰越支払資金	1,260,622	1,553,695	△293,073
前年度繰越支払資金	1,553,695	2,676,406	△1,122,711	支出の部合計	4,905,366	5,178,687	△273,321
収入の部合計	4,905,366	5,178,687	△273,321				

## 平成29年度熊本保健科学大学事業報告

### 目次

#### I 法人の概要

- 1 建学の精神、基本理念及びミッション
- 2 沿革
- 3 役員・評議員
- 4 設置する学校・学部・学科等
- 5 入学定員及び学生数
- 6 教職員の概要
- 7 卒業生の概要

#### II 事業の概要

- 1 主な事業の内容
  - (1) 全体概要
  - (2) 教育活動
  - (3) 研究活動
  - (4) 地域・社会貢献活動
  - (5) 国際交流活動
  - (6) 自己点検・評価活動
  - (7) 施設設備の整備活用
  - (8) 業務運営に関すること
  - (9) その他
- 2 学生の動向
  - (1) 学生募集状況
  - (2) 国家試験の合格状況
  - (3) 卒業生の進路状況

#### III 財務の概要

- 1 事業活動収支計算書（過去5年分）
- 2 貸借対照表（過去5年分）
- 3 財務比率（過去5年分）

\*事業の概要から紹介します

#### II 事業の概要

##### 1 主な事業の内容

###### (1) 全体概要

2017(平成29)年度は、次世代を見据えた地域包括医療に関する教育・研究の充実を図るため、新たな組織として「地域包括連携医療教育研究センター」を設置し、さらに、学生のライティングやプレゼンテーション能力等のスキル向上を目的とした「アカデミックスキルラボ」を発足させました。また、本学の4綱領のうち「思慮・仁愛」へつながる人間力を育成するための取組として、学生の正課外活動を推奨する「熊保大クラブ活動振興宣言」を定めるとともに、熊保大短期留学プログラム(アメリカイリノイ州、4週間)を始動し、選抜された20名の学生に対して留学費用の半額程度を奨学金として給付しました。

また、キャリア教育研修センター認定看護師教育課程に新たな分野として「認知症看護分野」を新設し、第1期生として24名の研修生を受け入れました。

施設面では、3月には新アリーナが竣工し、お披露目として卒業式を実施するとともに、長年の目標であったJR西里駅と大学との直結を実現することができました。

###### (2) 教育活動

###### ① カリキュラム等の改善及び再編

- ・大学間連携共同教育事業の一環として保健科学基幹科目「災害時における保健医療」を開講し、本学学生272名が履修しました。
- ・順次性のある体系的な教育課程を構築するため、科目ナンバリングを付与するとともにカリキュラムマップを作成しました。
- ・厳格な成績評価を実現するため、ルーブリック評価(観点別の達成度評価)を実施する科目を拡大しました。

###### ② 学修支援の充実

- ・先輩ピア・サポーター(実働77名)による時期に応じた質問や相談を実施しました。また、1年生ブチ・サポーター(実働34名)も活用しました。
- ・キャンパステラスを利用した学修相談室(スタディ・サポート・カフェ)を開室しました。前期28回(来室者40名)、後期25回(来室者43名)
- ・障害学生支援室による支援を強化しました。授業開始時期に「授業配慮願」の授業担当教員への配付及び支援内容の調整

学生相談・学修サポートセンターの設置に向けた基盤整理

- ・図書館における学生サポーターによる利用者支援、館員による文献検索支援を行うほか、各種展示コーナー(新生活応援、文章の書き方関連、社会への視点、放送大学テキストコーナー)を設置しました。また、学生自らが選書に参加する選書ツアーを2回実施し、合計270冊を選書しました。

###### ③ キャリア支援の整備・充実

- ・医療機関によるキャリア教育セミナー及び合同就職説明会を実施しました。
- 看護学科95施設、リハ学科74施設、言語聴覚学専攻11施設
- ・キャリアガイダンスの大略に基づき、適宜ガイダンスやマナー講座等を実施しました。また、医学検査学科3年次に加え、新たにリハ学科4年次を対象に就勝セミナーを実施しました。

###### ④ FD活動の充実

- ・FDセミナーの実施
- 8月「新しい時代の大学教育をめざして」(講師：関西国際大学 濱名篤氏)
- 3月「新しい時代の大学教育をめざして」(講師：九州工業大学 宮浦崇氏)
- ・アクティブラーニング・ワークショップ(6月、10月、3月)を実施し、本学での実践例をまとめた報告集を作成しました。
- ・学生による「授業改善アンケート」とその結果を踏まえた教員による「授業改善計画」を、学内用電子掲示板で教職員と学生に開示しました。

###### ⑤ 学生会活動等の支援

- ・球技大会(6月：ボウリング大会)、杏祭(10月)、リーダーズ研修(12月)
- ・シーズンプロジェクト(7月「七夕」、12月「クリスマス」)
- ・西里駅清掃(毎月1回土曜日実施、雨天等の中止3回、延べ610名参加)

#### (3) 研究活動

##### ① 研究成果の評価

- ・学内研究助成・研究成果報告会(3月22日ポスター発表)の開催
- ・平成28年度学内研究助成報告集の発行(8月)

##### ② 若手研究者等への研究支援

- ・科研費の採択率向上のための検討WG設置
- ・学外臨床研修 医検 野中喜久講師(熊本大学医学部附属病院)平成29年9月1日～平成30年3月31日
- ・学外臨床研修 医検 坂本亜里紗助教(熊本機能病院)平成30年2月5日～平成30年3月23日

##### ③ 外部研究資金等の獲得

- ・平成29年度文科省科研費
- 新規1件採択(申請36件、採択率2.8%)、継続2件
- ・平成30年度文科省科研費申請36件(前年度36件)(うち平成30年4月採択の申請件数31件中、7件の採択決定通知)
- ・5件の共同研究実施(協和メテックス(株)、(株)ハスクリン、メタル・テクノ、肥後銀行駅伝部、他1件)

##### ④ 学術的集会の開催

- ・学術講演会の開催(7月7日、11月1日)
- 「医療から減災を考える」講師：坪井忠和(岩手県立釜石病院 看護師長)
- 「脳回路から脳機能を眺める」講師：池谷裕二(東京大学 教授)
- ・熊保大健康と科学の夕べ(1月11日)
- 「排尿機能と性機能」講師：武田正之(山梨大学 教授)
- ・同窓会研修会の後援
- 看護学科同窓会(2月3日)、医学検査学科同窓会(2月24日)

##### ⑤ 保健科学研究誌の発行

- ・投稿数17件、採択数15件(総説1件、原著7件、研究報告5件、その他2件)

#### (4) 地域・社会貢献活動

##### ① 地域団体の各種イベントで、本学の特性を活かした健康・体力測定等を実施しました。

- ・フードバル熊本主催「花と食の祭典(5月)」348名参加
- 「フードバルフェスタ2017(11月)」472名参加
- ・本学開催「ふれあいフェスタ in ほくぶ(10月)」268名参加
- ・城北校区秋祭り「ふれあいの日(10月)」126名参加
- ・西里校区「健康ウォーキング大会」健康チェック・体操等(3月)124名

##### ② MUSASHI会「市民の健康生活を考える会」(11月19日)

- 宗城大学、寿量会熊本機能病院と共同開催(平成29年度幹事校：宗城大学)
- 本学の担当は、健康測定8項目 38名参加

- ③ 西里校区「井芹川大清掃」への参加（11月12日）：学生55名、教職員18名
- ④ 西里校区グラウンドゴルフ大会の実施  
5月（169名参加）、11月（167名参加）

## (5) 国際交流活動

- ① 大邱保健大学（韓国）
  - ・Global Student Leadership Programに本学学生4名（医検1名、看護2名、リハ1名）を派遣（8月10日～19日）
  - ・交換研修生として本学学生7名（医検4名、看護2名、リハ1名）を派遣（9月8日～21日）
  - ・大邱保健大学学生7名（医検2名、看護2名、リハ3名）の受入れ（7月1日～14日）
- ② コンケン大学（タイ）
  - ・交換研修生として本学学生4名（看護4名）及びOT教員1名を派遣（9月8日～21日）
  - ・コンケン大学の学生4名（看護4名）の受入れ（6月1日～14日）
- ③ 国際シンポジウム（7月10日～11日）の開催
  - ・参加者：海外27名（韓国7名、タイ10名、フィリピン10名）、同伴者2名、学外10名
  - ・特別講演「Tattooに対する日本人の眼差し」講師：小野友道（本学名誉教授）
- ④ 温州医科大学（14名）からの本学訪問（10月5日）

## (6) 自己点検・評価活動

- ① 平成29年度自己点検・評価報告書の作成
  - ・基準項目・評価の視点に沿って作成し、全教職員への配信（9月）
  - ・改善の実質化のため、基準ごとの点検項目を関連部署に周知（11月）

## (7) 施設設備の整備活用

- ① 省エネ対策として照明の計画的LED化
  - ・キャンパステラス及び1号館事務エリア照明取替え工事（191万円）
  - ・6/14完了
- ② 空調機の性能維持管理
  - ・吸気式冷水機（3号機）の定期整備（324万円）
  - ・6/26完了
- ③ 1号館総研室改造工事
  - ・本学総研部会の決定事項により1411機器室及び1313暗室を総研室として改造（366万円）
  - ・7/31立会検収終了
- ④ 3号館ST教員室増設工事（2室）
  - ・次年度教員室対応のため（864万円）
  - ・9/4立会検収終了
- ⑤ LL・PC室増設工事
  - ・共通教育センターの依頼に基づき、PCの増設対応（499万円）
  - ・9/8立会検収終了
- ⑥ メディアストリート補修工事（震災助成対応）
  - ・熊本地震により傷んだインターロッキングブロックの補修（308万円）
- ⑦ メディアストリート補修工事（経年劣化）
  - ・経年劣化により傷んだインターロッキングブロックの補修（189万円）
  - ・9/22立会検収終了
- ⑧ 1号館事務室エリア及びレストラン出入口への自動ドア設置
  - ・人の出入りが激しい出入口のスムーズな開閉と省エネ対策（551万円）
  - ・8/18立会検収終了
- ⑨ 1号館1308洗浄滅菌室床補修
  - ・熊本地震による床ひび割れに対する仮復旧工事後の本工事（203万円）
  - ・3/26立会検収終了
- ⑩ 3号館クラック調査
  - ・熊本地震以降クラックが目立つ個所の、構造上の安全性確認（108万円）
  - ・3/27確認完了
- ⑪ キャンパス拡張関連
  - ・12月：消防検査、建築検査、1月：開発検査
  - ・2月：開発検査済証・建築検査済証受領、引き渡し式（2/15）
  - ・3月：竣工式（3/7）、卒業式挙行（3/9）
- ⑫ 図書館関連
  - ・図書館の利用状況は、以下の通りでした。
  - ※年間の開館日数は266日（前年264日）
  - ※入館者数8万9,022人（前年8万8,374人）
  - ※学生への貸出冊数18,369冊（前年19,265冊）
  - ・国家試験支援のため、休日特別開館を実施（2月の土日祝日6日間）、1,256人が来館しました（前年5日間825人）。

- ・キャンパステラスを含むラーニング・コモンズで各種学生支援イベントを企画運営したほか、図書館キャラクターを募集し決定しました。また、無線LAN追加、貸出用ノートPC等の充実を図り、ICT環境を強化しました。
- ・研究支援として、Science Direct、naturePPV論文数追加の契約を行いました。

## (8) 業務運営に関すること

- a) 大学運営協議会、教授会、学術研究会議が適切に役割分担を行い、円滑な大学運営を図りました。
- ① 大学運営協議会（定例11回開催）で審議・報告された主な事項は、次の通りです。
  - 1) 学則、その他の学内諸規程の制定、改定
  - 2) 事業報告・事業計画
  - 3) 決算、予算
  - 4) 将来ビジョン
  - 5) 補助金事業申請への対応
  - 6) 自己点検・評価への対応
  - 7) 海外留学プログラム
  - 8) 学生相談・修学サポートセンター設置 など
- ② 教授会（定例11回、臨時5回開催）で審議・報告された主な事項は、次の通りです。
  - 1) 入学試験合否判定（指定校・一般推薦、一般、センター前期・後期）
  - 2) 卒業認定、進級判定、保健師選択学生の選考、単位認定（TOEICなど）
  - 3) 学生の各種表彰
  - 4) 科目等履修及び学籍異動
  - 5) 授業暦
  - 6) カリキュラム変更、学内諸規程の制定・改定
  - 7) 大学運営協議会報告、各委員会報告 など
- ③ 学術研究会議（定例5回、臨時5回開催）で審議・報告された主な事項は、次の通りです。
  - 1) 学内研究助成の募集に関する検討、申請の審査・採択
  - 2) 学外との共同研究
  - 3) 学術講演会の開催及び報告
  - 4) 研究員の受入・更新、諸規程の改定
  - 5) 本学における研究ブランディング事業に関すること
  - 6) 研究環境の整備に関すること など
- b) 教職員の人事評価制度の適正な運用を図りました。
- ① 教員については、平成29年4月から平成30年3月までの自己評価について、新規教員への説明会を実施しました。自己評価を基に教員評価を実施し、平成30年4月給与から処遇へ反映させます。
- ② 職員については、平成28年10月から平成29年9月までの一年間の評価を、平成30年4月の昇給に実処遇反映させます。

## (9) その他

- ① 法令等に基づいた的確な情報公開の実施
  - ・事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、監事による監査報告書を事務所に備え置くとともに、『学園通信ざんきょう』、学内LAN、ホームページを通じて学内外に公開しました。
- ② 九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク（Q-Links）賛同校としての活動
  - ・Q-conference2017（福岡工業大学）に本学から教職員6名及び学生2名が参加し、アカデミックスキルラボの取組に関するポスター発表を2点行いました（12月16日）。
  - ・Q-Links賛同校等に本学のセミナー等への参加を呼びかけ、2つのセミナー等に学外から延べ18名の方に参加していただきました。
- ③ 地域包括連携医療教育研究センターでの主な取組
  - ・キックオフシンポジウムの開催（5月28日）
    - テーマ「地域包括ケアシステムにおける地域の医療系大学の果たす役割」
    - 基調講演：山城清二（富山大学 教授）
  - ・センター主催の専門職向け研修会を5回実施
  - ・「つなぐ力」と「生きる達人」をテーマに達人発掘プロジェクトを実施
- ④ アカデミックスキルラボでの主な取組
  - ・ラボ開設を記念したキックオフシンポジウムの開催（10月14日）
    - 「新しい学びのかたちを目指して」基調講演：佐藤隆（都留文科大学 教授）
  - ・正課外のサポートアワー（昼休み、放課後）で学習サポートを行い、利用者は延べ1,366名に上りました（実数は約100名）。
  - ⑤ 大学コンソーシアム熊本各部会・委員会への参画
    - ・「進学ガイダンスセミナー2017」実施委員会委員長の役割を担い、セミナーを本学で開催し、26の講座に延べ1,737名の高校生の参加を得ました。

## 平成30年度熊本保健科学大学事業計画

本学の基本理念・教育目標を達成するため、2018年度事業計画を策定した。大学を取り巻く環境は厳しさを増している。これまで18歳人口が減少期に入る「2018年問題」が取りざたされてきたが、ついにその年へと突入した。また、2019年10月には、消費税率10%への増税が予定されている。大学の教育改革・経営改革への継続的な努力なしには、今後の成長は望めない。そのような中、本学では「保健医療分野の教育と研究を通して社会に貢献できる医療技術者を養成する」というミッションの下、10年後、20年後も「選ばれ続ける大学」であるために、教職員一体となり、たゆまぬ活動を展開していく必要がある。

本年度は第4次中期目標・中期計画の最終年度として、教育研究の質の向上と経営の安定化をさらに推進する。また年度末には、任期満了に伴う教学組織の改選を控えており、新体制へスムーズに移行できるよう、着実に進めていく。

### 重点目標

#### 1 教育・研究の質の向上及び学生支援の推進

- ①教育改革推進会議主導による教育改革の実施
- ②大学院の充実と活性化
- ③外部資金獲得等による研究の質の向上及び研究環境の充実
- ④学生の到達度の見え方と評価の実現に向けてのeポートフォリオのカスタマイズと導入準備
- ⑤教職協働による正課外活動を含めた学生の主体的活動や国家試験対策・就職支援の推進と強化
- ⑥学生相談・修学サポートセンターの稼働による学生の修学支援の向上

#### 2 入学者の安定的確保

- ①志願者・入学者の安定的な確保と質の向上
- ②入学試験改革委員会を中心とした新たなルールに基づく本学入試制度の改善と外部への公表

#### 3 地域の中核を担う大学としての機能強化

- ①健康・体力測定等の地域連携活動を通じた社会貢献の充実
- ②医療専門職の生涯学習の拠点としての機能の充実
- ③地域包括連携医療教育研究センターを中心とした地域の教育研究拠点としての機能の充実

#### 4 自己点検・評価の充実

- ①第4次中期目標・中期計画の最終年度における実行評価と新しく定めた「将来ビジョン」に基づいた、第5次中期目標・中期計画の策定
- ②アセスメントポリシーに基づく3ポリシー（DP・CP・AP）の達成度評価

#### 5 大学の安定的運営の促進

- ①教育研究活動を充実するための適正な人件費比率の達成
- ②将来計画に向けた継続的調査・研究及び実現に向けた取組の推進
- ③既存アリーナの活用を検討とキャンパス整備の確実な遂行

#### 6 学長のリーダーシップによる大学のガバナンス強化

- ①IRによるマネジメント体制の強化
- ②危機管理体制の強化
- ③より適正な教員人事評価制度への改善と利益相反マネジメントの実施

### 1 基本理念・教育目標

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、「①保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行い、②人間と社会に深い洞察力を持ち、③高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献でき、④豊かな人間性を備え、創造性に富む、活力ある人材を育成する」との基本理念を達成するために、次の教育目標を掲げている。

- (1) 生命の尊厳と社会について洞察力を有し、自立できる人材を育てる
- (2) 広い視野に立ち、課題探求力と問題解決力を有する人材を育てる
- (3) 医療専門職と連携協働し、自己責任の果たせる人材を育てる
- (4) 多様な価値観を理解し、国際的な言語運用能力と情報技術を持つ人材を育てる

以上の基本理念・教育目標を周知するため、学生便覧、ホームページ、大学案内などでの文字による開示を徹底するとともに、オリエンテーションや各種学内行事を通じて対面形式での開示も実施する。

### 2 教育に関する目標を達成するための措置

#### (1) 教育の成果

- ①中教審答申や機関別認証評価の新基準に応じた教育の点検及び改善を行う。
- ②アセスメントポリシーを公示し、3ポリシーに関するPDCAサイクルを確立する。
- ③学生の主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を全学的に推進するとともに、実践例を全学的に共有する。
- ④学生のパフォーマンスを評価するためにルーブリック評価の活用を推

進する。

- ⑤学務システムのカスタマイズによりeポートフォリオを構築し、導入・試行する。
- ⑥「熊保大クラブ活動振興宣言」を周知・徹底し、実質化に向けて取り組む。
- ⑦学籍管理とともに教学IRを推進し、本学の学生の特徴を認識し、改善につなげる。
- ⑧教育目標達成の要件でもある、専門分野に関連する資格・国家試験合格率、専門職就業率などの分析により、必要に応じて教育体制の強化を進める。

#### (2) 教育内容等

- ①高大接続に係る国の改革動向を見極めながら、入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を見直し、新たなルールに基づく入試について年度内に公表する。
- ②現行カリキュラムを学科・専攻主導で見直し、本学独自の特徴的なカリキュラムの策定を目指す。
- ③医療現場のチーム医療を担える能力の育成を継続的な課題として位置づけ、学科横断的な1年次「基礎セミナー」及び4年次「チーム医療演習」を充実させる。
- ④初年次教育におけるライティング指導・プレゼンテーション指導のプログラムを構築し、新科目「アカデミックスキル」の開設に向けて準備を進める。

#### (3) 教育の実施体制

- 1) 全学的な教学マネジメント体制を整備するための具体的方策
  - ①学長をトップとする教育改革推進会議を実践的に運営する。
  - ②教育改革推進会議の下にカリキュラム改革委員会、教育方法改革委員会及び入学試験改革委員会を置き、改革を推進する。
  - ③各学科長のもとに必要に応じて副学科長を置き、学科運営の効率化につなげる。
- 2) 教職員の適正な配置等に関する具体的方策
  - ①教員人事に関する基本方針を協議・決定する。
  - ②教員人事評価制度の複雑さの軽減に努め、教員評価体制の適切な運営を図る。
  - ③人材確保に努力するとともに、新たに医系教員教育調整会議を設置する。
- 3) FD活動の充実に関する具体的方策
  - ①FDセミナーを開催するとともに、崇城大学との連携FD交流も充実させて、教育に関するテーマの討議や外部の関連講師の講演などにより授業の質を高める。
  - ②他大学（Q-Links、大学コンソーシアム熊本、崇城大学、神戸常盤大学等）との連携・協働を進める。
- 4) その他
  - ①地域包括連携医療教育研究センターの事業を促進する。
  - ②リハビリテーション学科の学外実習において、クリニカルクラークシップ制度を拡充するため、適切なフォローを実施する。
  - ③新入生オリエンテーションを大学での重要な導入教育の場と位置づけ、部門を超えた教職協働体制で取り組む。

#### (4) 学生への支援

- 1) 学生の学修環境や学修相談の支援体制の整備・充実等に関する具体的方策
  - ①本学の強みであるスモールグループ（SG）担任制度をより良いものとするため、ワーキンググループを立ち上げて、現状把握及び今後の在り方について検討する。
  - ②学修相談室（スタディ・サポート・カフェ）等による多様な学生へのサポート体制を充実させる。
  - ③学生用パソコンやeラーニング環境など、自立的学習の場を整備するとともに、ラーニング・コモンズを更に充実させ、効果的な運用を目指す。
  - ④「学生相談室」と「障害学生支援室」の機能を合わせた「学生相談・修学サポートセンター」を設置し、学生の学修力と大学の学生支援力の向上を目指す。
- 2) 学生の心身両面のケアを含めた健康管理・相談体制の充実等に関する具体的方策
  - ①保健室、学生相談・修学サポートセンターを中心に、SG担任、学務課等による生活相談・指導体制を充実させる。
  - ②ハラスメント防止対策のための相談、広報、講演会等を継続的に実施する。
  - ③実験・実習等における危険物取扱いについての安全衛生・健康教育を充実し、危険防止や健康障害防止に努めるとともに、職場環境測定も実施する。
  - ④キャンパスの安全確保のため学内巡視を強化し、熊本地震を教訓とした災害対策のための防災訓練を実施する。
- 3) 就職支援体制の整備・充実に関する具体的方策
  - ①SG担任と就職支援課とが協力し、学生への個別指導体制を強化する。
  - ②キャリアガイダンスの大略を審議し、学生の満足いく就職活動を支



援する。

- ③医療機関との連携を強化し、良質な就職先の確保に努める。

## (5) 社会との連携、国際交流等

- 1) 社会的活動への取り組みの推進を実現させるための具体的方策  
新しいアリーナ等を活用した大学の教育に関連する専門職能団体、地域社会に向けた公開講演会を実施するとともに、地域連携活動や生涯学習教育等を実施する。
- 2) 学生の社会的活動の推進を実現させるための具体的方策
  - ①学生の社会的能力の向上を支援するために、部・クラブ活動等を支援する。
  - ②ボランティア活動などの学内外における学生の活動を奨励・支援する。
  - ③ピア・サポーター等として大学の事業に学生を参加させることの教育的側面を考慮して、事業別に具体的な方策を検討し、積極的に実施する。
- 3) 国際交流に関する活動  
大邱保健大学（韓国）、コンケン大学（タイ）を中心に、学術交流や学生・教員間の人的交流の充実を図る。
- 4) 減災型の地域社会を目指したシステムの構築
  - ①災害時福祉避難所としての大学施設機能の充実を図る。
  - ②保健科学基幹科目である「災害時における保健医療」を中心に防災型社会の教育・研究を試みる。

## (6) 学術情報基盤

- 1) 図書館の情報システム拡充と学修・教育・研究支援のための具体的方策
  - ①学生の視野に立った蔵書構築と教育研究に必要な図書・電子資料を充実させる。
  - ②学術情報システムの利用度に応じた整備と本学学術情報リポジトリの運用管理を実施する。
  - ③SNSと図書館キャラクターを活用し、利用者支援を実施する。
- 2) 学内システムの更新や保守・管理について、計画的に実行する。

## 3 研究に関する目標を達成するためにとるべき措置

### (1) 研究意欲の活性化

- 1) 円滑かつ効果的な研究費の配分
  - ①教育研究プログラム・拠点研究プロジェクトの審査と採択、研究費配分の決定
  - ②研究進捗管理の充実（研究成果報告内容の充実）
- 2) 研究成果の評価法の改善と検証及び制度の見直し
  - ①研究成果の評価法に関する検討、成果の検証、制度の見直し
  - ②学内研究助成・研究報告会の開催、学内研究助成報告集の発行
- 3) 研究計画コンサルテーションの強化
  - ①研究アドバイザーの周知
  - ②学内研究費申請に関する説明会の開催

### (2) 若手研究者の育成

- ①研究設備等の研究環境の充実（若手教員の要望調査・分析・改善）
- ②海外研修・国際会議への参加支援（学内研究費の活用、若手教員へ重点配分）

### (3) 外部研究資金の獲得

- ①学外研究費募集の公表と説明会の開催（科研費他、外部資金）
- ②ブランディング事業等、本学の特色を生かした研究テーマ探索の支援
- ③複数の教員での研究の推進と学内研究A・Bタイプの活用推進

### (4) 研究成果の社会への還元

- ①研究成果の学術専門誌、国際・国内学会などへの公表推進
- ②保健科学研究誌の充実（論文7編以上掲載、うち若手教員論文3編以上）
- ③学術・研修集会の開催（学術講演会の実施、同窓会主催による講習会等への後援）
- ④「研究シーズ集（仮称）」の編集と発行、HPへの掲載

### (5) その他

- ①研究不正防止・研究費不正使用防止に関する研修会の開催（eラーニングの活用）
- ②研究業績管理システムの導入と運用
- ③利益相反に関する学内調査の実施とセミナーの開催

## 4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

### (1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

- 1) 学生のための教育・研究の質の向上や学生支援
  - ①奨学金募集・申請手続き、国家試験への手続き等の支援による学生満足度の向上
  - ②厳格な成績管理、厳正かつ適正な入試業務の遂行とWEB出願の円滑な運用
  - ③学外実習施設の状況管理とクリニカルクラークシップ制度導入の定着
  - ④ピアサポート活動の支援、eラーニングの効果的な運用
  - ⑤学修に困難を伴う学生に対する合理的配慮の実施
- 2) 就職決定率100%へ向けた就職支援とキャリア教育の推進
  - ①SG教員との密な連携による、標準化した就職指導による学生支援

- ②テラーメイド就職支援の継続（4年生全員面談の実施）

- ③医療機関によるキャリア教育セミナー、合同就職説明会や保護者会の開催

- ④職域拡大のための各種説明会の開催や病院訪問

- ⑤各年次の目標に合わせたキャリア教育の実施

### 3) マーケティング戦略の導入による志願者数増と質の維持・向上

- ①高校訪問・進学ガイダンス・出前授業等、足で稼ぐ広報の実施

- ②効果的なコンテンツを活用したタイムリーな情報発信

- ③国際交流ムービーやHP英語版の作成等、国際化に対応した広報の展開

- ④将来計画に向けた継続的調査・研究と実現に向けた取組の推進

### 4) 施設設備の拡充計画の立案・運用

- ①キャンパス拡張に伴う既存施設の活用計画の策定

- ②校舎内外の景観及び環境の整備と設備・機器等の老朽化への対応

- ③エコ活動の推進と防犯・防災管理の強化

### 5) 地域貢献と国際交流

- ①健康・体力測定をはじめとした地域貢献の継続

- ②交流協定に基づいた韓国の大邱保健大学・タイのコンケン大学との更なる交流

## (2) 人事の適正化に関する目標を達成するための措置

- ①教員人事評価制度の適切な運用と改善

- ②事務局2部体制の評価と職員適正配置の確実な遂行

- ③学内SD研修の実施と新入職員研修の充実

## 5 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

### (1) 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

文部科学省特別補助、科研費、受託研究費、共同研究費、奨励寄付金等を対象とし、学内の広報・啓発活動を行い、外部競争資金の積極的な導入についての仕組み作りを推進する。また、寄付金収入を増やすため、個人・各種団体からの寄付募集の仕組みを検討する。

### (2) 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

- ①教育研究活動を充実し活性化するために、第4期中期計画において人件費比率を経常収入の50%以下に抑えるための行動計画（人事計画）を策定する。

- ②第4期中期計画の収支シミュレーションに沿った財務運営を実施する。

- ③予算管理システムに則った予算/実績、収支差額の進捗管理を行い、経費の抑制と効率化を図る。

- ④学校法人会計基準他の関係法規に準拠し、三様監査（監査法人監査、監事監査、内部監査）に的確に対応できる、適切な会計処理を実施する。

### (3) 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置

- ①安全性に配慮した資金運用を前提としつつ、金融利息・配当金確保を目指す。また、大型投資の支払時期・金額を把握し、運用期間を適切に設定する。

- ②運用規程の整備、役割分担の明確化、報告体制の確立、内部牽制機能の強化により、最優先すべき安全性を担保する。

## 6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

### (1) 評価の充実に関する目標を達成するための措置

- 1) 「自己点検・評価に関する規程」に沿った自己点検・評価の適切な実施

- ①国の認証評価制度の動向を見極めながら、本学により相応しい基準項目等について構想する。

- ②「第4期中期目標・中期計画」の最終年度における実行評価と新しく定めた「将来ビジョン」に基づき、平成30年度自己点検・評価活動を行うとともに、「第5期中期目標・中期計画」を策定する。

- 2) 第2期機関別認証評価の受審結果を事業計画に反映させ、教育、研究、運営等の改善に繋げる。

### (2) 情報公開・社会貢献などの推進に関する目標を達成するための措置

- ①大学としての社会的責任を認識し、法令に基づき、教育研究業績、事業計画・事業報告、財務諸表、自己点検評価書等について、学園通信、ホームページ等により、積極的な公開を推進する。

- ②地域貢献の観点から、新しいアリーナを含めた大学施設の開放を積極的に実施する。

- ③公開講演会（シンポジウム）の実施

## 7 その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

### (1) 施設設備の整備活用に関する目標を達成するための措置

- ①太陽光発電システムを適切に運用する。

- ②大学の不動産管理、動産管理、熱力用水管理など、本学の総務に関する運営管理を的確に実施する。また、種々の不具合発生に対し、教育・研究に影響を与えないよう迅速かつ的確に対応する。

- ③事務の各部署における業務の効率化（量的・質的）を推進する。

### (2) その他の目標を達成するための措置

熊本機能病院・崇城大学との共催（MUSASHI会）による第10回市民健康生活フォーラムを、幹事校（熊本機能病院）と連携・協力して開催する。

以上

# 国際交流

## コンケン大学交換研修生

平成 30 年 6 月 1 日（金）から 14 日（木）まで、コンケン大学の交換研修生 4 名（検査 2、看護 2）が本学に滞在しました。滞在期間中は、熊本赤十字病院、熊本機能病院、テイサービスほぼろ、われもこう等の施設見学の他、講義・実習受講、日本語交流、文化体験、天草及び市内観光等をしていただき、サポート学生や他の多くの学生とも充実した交流をおこないました。コンケン大学の学生は流ちょうな英語を用い、本学の学生はそのレベルの高さに驚いていました。最後のプレゼンでは 14 日間の滞在中に学んだこととコンケン大学の紹介をしてくれました。教職員をはじめ、本学から派遣予定の学生にとっても良い刺激になったことと思います。（国際交流委員会）



## 海外短期留学生レポート



看護学科 4 年  
中村 桃花

アメリカへの短期留学プログラムに 20 名の仲間と参加しました。午前中はアジアや中東からの留学生と共に英語で授業を受け、午後の様々なアクティビティーの中には現地の病院見学や医療系の大学生との交流会等があり、毎日がとても充実しているあつという間の 1 か月でした。親切なホストファミリーや先生方、友人にも恵まれ、様々な違いに触れることで世界の多様性を学ぶことができました。帰国後に受験した TOEIC では 115 点のスコアアップ (835 点) により自信にもつながりました。学長先生、プログラムの支援に携わってくださった先生や事務の方々にも心より感謝します。



## 海外短期留学生レポート



医学検査学科 4 年  
中津留 実夢

私は約 1 ヶ月間海外短期留学生としてアメリカ イリノイ州デカルブにある ELS Language Centers というところで勉強させていただきました。現地ではホームステイをしながら午前中は授業、午後は組んでいただいた活動を行いました。授業はもちろん全て英語で、アメリカ以外の国の人と一緒に受けました。私は彼らがする質問の多さに驚き、その積極的な発言力を身につけたいと思いました。

これからも英語の勉強を続けさらには就職先で活かせるくらいなと思っています。素晴らしい機会を作っていただき本当にありがとうございました。



## 海外短期留学生レポート



リハビリテーション学科  
理学療法専攻 3 年  
高岡 義宏

私は今回のアメリカ留学を終えて「積極性の重要性」を再確認することができました。ELS での授業には他国の学生も参加しており、中でもサウジアラビア人が持つ学びへの意欲には脱帽しました。彼らはどんなに小さな問題でも納得できなければ先生に声をかけその解決のために尽力を惜しまないでいました。また驚く事にそんな彼らは 30 歳前後で私達と 10 歳近くも離れていて、学びたいという意志があれば何歳になっても向上できるのだと強く感じました。日本には空気を読むという考え方が根強いですがそれに負けないくらいの意志を持って行動していきたいです。





# Library

- 図書館の平成 29 年度の利用状況です。入館者数 89,022 人(28 年度 88,374 人)、うち学生が、84,557 人(81,500 人)と 3,000 人増加しています。館外ラーニングcommons「キャンパステラス」の利用も 17,720 人(10,531 人)で 7,000 人増でした。
- 年間貸出冊数は、学生一人平均 12 冊(28 年度 13 冊)でした。学外長期実習対応の長期貸出期間延長が要因となりました。なお、看護学科では、学生一人平均 17 冊でした。※大学生の全国平均は 6.7 冊(参考：文部科学省学術情報基盤調査報告書 H29 年度)。学外実習支援として電子ブックも順次購入しています。
- 図書館報 2018 春号を作成しました。図書館キャラクター紹介や飯山館長から新入生へのメッセージ「大学生活と図書館」ほか、ラーニングcommonsとは?『私の部屋でランチを』一覧やお知らせを掲載しています。どうぞご覧ください。  
図書館ホームページ <http://www.kumamoto-hsu.ac.jp/library.html>
- 図書館のイメージキャラクターが決定しました。学内の学生・教職員からの応募 15 作品の中から LINE による学内投票で選ばれました。(1 位最優秀賞 岩下夏岐ほか、優秀賞 1 名佳作 2 名) ガイダンスや各種サービスで学生スタッフと共に活動中。詳細は、図書館ホームページをご覧ください。 <http://www.kumamoto-hsu.ac.jp/library.html>



## 図書のご紹介 図書館蔵書の中から

### 『PT・OT・ST 臨床実習まるごとガイド』

大塚裕一ほか監修 2017  
金芳堂  
配架場所：展示コーナー



### 『臨床化学検査技術教本』

池田勝義編 2017 丸善出版  
配架場所：展示コーナー



## 将来ビジョン 保健医療系大学として、我が国のリーディング大学の一つとなる

### ビジョン 1

社会の変化に対応し、リーダーシップを発揮できる医療技術者の養成

#### ビジョン 1-1

教育改革の推進と学生ファーストの修学支援

#### ビジョン 1-2

独創的な研究の推進と大学院の充実

### ビジョン 2

地域に根ざし、地域と共に歩み、社会の幸福実現に貢献

#### ビジョン 2-1

教育・研究組織の充実

#### ビジョン 2-2

魅力的な教育・研究環境の充実

### ビジョン 3

10 年後も 20 年後も選ばれ続けるためのブランド力の強化

#### ビジョン 3-1

学生・教職員の国際力の向上と海外の大学等との連携強化

#### ビジョン 3-2

教員と職員が協働する効率的・合理的な職場環境の構築

## 基本理念

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、以下の基本理念を掲げる。

1. 保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行う
2. 人間と社会に深い洞察を持つ人材の育成
3. 高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献できる人材の育成
4. 豊かな人間性を備え、創造性に富む、活力ある人材の育成

## 教育目標

1. 生命の尊厳と社会への洞察力を有し、自立できる人材を育てる
2. 広い視野に立ち、課題探求力と問題解決力を有する人材を育てる
3. 医療専門職と連携協働し、自己責任の果たせる人材を育てる
4. 多様な価値観を理解し、国際的な言語運用能力と情報技術を持つ人材を育てる

## 編集後記

前号でご紹介にまにあわなかった新アリーナの特集号です。本文内にありますように、沢山の方々に利用いただける施設になりそうです。今後とも熊本大をどうぞよろしくお願いいたします。



# 平成31年度 熊本保健科学大学 入試概要

## ■ 募集人員

学部	学科 / 専攻	募集人員	合計	
保健科学部	医学検査学科	100名	320名	
	看護学科	100名		
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻		40名
		生活機能療法学専攻		40名
		言語聴覚学専攻		40名

## ■ 入試区分別募集人員

入試区分	指定校推薦	一般推薦	一般	センター利用 (前期日程)	センター利用 (後期日程)	社会人	合計
医学検査学科	15名	35名	40名	5名	5名		100名
看護学科	15名	32名	43名	5名	5名		100名
リハビリテーション学科理学療法学専攻	5名	15名	15名	3名	2名	若干名	40名
リハビリテーション学科生活機能療法学専攻	5名	15名	15名	3名	2名	若干名	40名
リハビリテーション学科言語聴覚学専攻	5名	15名	15名	3名	2名	若干名	40名
合計	45名	112名	128名	19名	16名	若干名	320名

## ■ 入学試験日程一覧

入試区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
指定校推薦	平成30年11月1日(木) ～11月7日(水)	11月10日(土)	11月16日(金)	平成30年11月16日(金) ～11月30日(金)
一般推薦	平成30年11月1日(木) ～11月7日(水)	11月10日(土)	11月16日(金)	平成30年11月16日(金) ～11月30日(金)
一般	平成31年1月4日(金) ～1月27日(日)	2月4日(月)	2月14日(木)	平成31年2月14日(木) ～2月21日(木)
センター利用(前期日程)	平成31年1月4日(金) ～1月27日(日)	個別試験なし	2月14日(木)	平成31年2月14日(木) ～2月21日(木)
センター利用(後期日程)	平成31年2月15日(金) ～2月27日(水)	3月4日(月)	3月8日(金)	平成31年3月8日(金) ～3月20日(水)
社会人	平成30年10月15日(月) ～10月26日(金)	11月3日(土)	11月16日(金)	平成30年11月16日(金) ～11月30日(金)

●入試に関するお問い合わせ

## 熊本保健科学大学入試課

〒861-5598 熊本市北区和泉町325番地  
TEL096-275-2215(直通)

E-mail : nyushi@kumamoto-hsu.ac.jp http://www.kumamoto-hsu.ac.jp

### オープンキャンパス!!

7/22  
sun

8/19  
sun

### チャレンジ熊保大!!

推薦入試  
対策講座 8/26 sun

一般入試  
対策講座 12/9 sun



熊本保健科学大学では、公益財団法人日本高等教育評価機構において平成26年度大学機関別認証評価を受審し、平成27年3月10日付けで同機構が定める大学評価基準に適合していることが認定されました。本学では今回の認証評価の結果を踏まえ、今後も更なる向上に努めて参ります。

GINKYO GAKUEN TSUSHIN  
“GINKYO” No.38

●学校法人银杏学園 熊本保健科学大学  
〒861-5598 熊本市北区和泉町325番地  
TEL096-275-2111 FAX096-245-3126  
http://www.kumamoto-hsu.ac.jp

●発行日/平成30年7月31日